

教科(科目)	地理歴史（歴史総合）	単位数	2単位	学年(コース)	1年次（必修）
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）				
副教材等	問いかからはじまる歴史総合（東京法令出版）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS J（ホップ・ステップ・ジャンプ）」プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 指導の重点

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、いろいろな史料諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義・特色などを、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史上の課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力を養う。また、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○多様な史料から、歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義・特色などを、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史上の課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 - 定期考査の分析 - レポート・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 - 定期考査の分析 - 史料やデータ読み取りの内容確認 - レポート・ワークシート、提出物などの内容の確認 - 調べ学習の発表内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 - 授業中の発言、発表や討論への取り組みの様子 - レポート・ワークシート、提出物などの内容の確認 - 振り返りシートの記述の分析 などから評価します。

- ・内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。
- ・内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4 5 6 7 8 9 10 11	第1章 近代化への胎動	教科書 資料集 プリント	・17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解する。	6	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成		・産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解する。	6	
	定期考査			1	a, b
	第3章 アジアの変容と日本の近代化	教科書 資料集 プリント	・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で幕末から明治維新にかけての日本の動向を理解する。 ・明治維新後、憲法制定や国会開設といった近代国家が形成されていく過程を理解する。	10	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	定期考査			1	a, b
	第4章 帝国主義の時代	教科書 資料集 プリント	・帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応について理解する。 ・日清・日露戦争前後の対外関係の変化や国内の産業の発展や、産業革命の進行にともなう社会問題の発生について理解する。	10	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	定期考査			1	a, b
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	教科書 資料集 プリント	・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	8	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c

	12	第6章 経済危機と第 二次世界大戦	教科書 資料集 ワーク シート	・世界恐慌と日本国内の経済、社会の動向お よびアジア近隣諸国との関係に着目し、第 二次世界大戦とその間の内外情勢の変化に ついて理解する。	8	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	1	定期考査 第7章 冷戦と脱植民 地化	教科書 資料集 プ リ ン ト	・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日 本の動向、アジア・アフリカの民族運動と 植民地支配からの独立を理解する。 ・パレスティナ問題について理解する。 ・日本の高度経済成長について理解する。	1 7	a, b ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	2	第8章 多極化する世 界 第9章 グローバル化 と現代世界	教科書 資料集 ワーク シート	・1970年代以降の市場経済のグローバル化、 冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会 への移行、地域紛争の頻発、資源・環境・エネ ルギーをめぐる問題を理解させ、地球社会へ の歩みと地球規模で深刻化する課題について 考察する。	10	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
		定期考査			1	a, b

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・定期考査毎に、授業ノート
- ・授業中に行なう課題やプリント
- ・調べ学習を行った際の発表プリント等

8 担当者からの一言

歴史を学ぶということは、私たちが生きているこの社会がどのようにして成立したのか、なぜ現在の状況があるのかについて考えるということです。この授業では近現代の歴史を中心に、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えながら、世界はどのように変わりつつあるのか、人類の未来はどうあるべきかについても考えてゆきます。

(担当 : 平原 孝之)